

公益信託エスペック地球環境研究・技術基金(エスペック環境研究奨励賞)

＝ 2026年度応募要項＝

1. 目的

この公益信託は、地球環境保全に関する科学的、技術的な知見を高める各種活動又は地球温暖化に対する一つの処方としての緑化の重要性を教育・啓発するための費用の一部または全部を助成することにより、地球環境問題の克服に寄与することを目的としています。

2. 応募資格

以下の要件をすべて満たすことが必要となります。

- ・実施しようとするテーマは、地球環境問題の解決に資する調査研究、及び技術開発に関するものであり、現在研究中または研究予定のものであること。
- ・助成対象は、国内に所在する大学、大学院および工業高等専門学校並びにそれらに付属する研究機関の構成員またはそのグループであること。
- ・同一テーマで他の基金などから、二重に助成を受けていない、または受ける予定のないこと。

3. 助成の金額と期間

- (1) 2026年度の助成総額は900万円を上限に、10～20件程度の助成※を予定しております。
- (2) 助成期間は、原則として助成金給付日より1年間とします。
(※2025年度研究助成実績 17件 総額9,000,000円)

4. 助成金の使途

地球環境問題の解決に資する調査研究、及び技術開発に関する費用であれば、機材費・消耗品費・旅費・謝金等も含まれます。詳細は「助成金の使途について」(別紙1)をご参照下さい。

5. オーバーヘッドの取り扱い

研究費につきましては、オーバーヘッドを徴求しないものとさせていただきます。

6. 報告の義務

助成金の受領者には、申請に基づく助成期間終了後2ヶ月以内に助成金研究報告書(様式第2号)ならびに助成金使途報告書(様式第3号)を提出していただきます。

7. 選考方法

学識経験者からなる運営委員会により厳正に審査・選考いたします。

8. 審査委員 (敬称略・五十音順)

今西純一 京都大学大学院地球環境学堂(農学研究科両任)教授
大政謙次 東京大学名誉教授 高崎健康福祉大学農学部長・教授
佐山 浩 関西学院大学総合政策学部教授
福重真一 早稲田大学 理工学術院 教授
松下和夫 京都大学名誉教授 公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)シニアフェロー

9. 応募方法

所定の申請書(様式第1号)および、反社会的勢力でないことの表明・確約書に必要事項を記入のうえ、必要資料を添えてみずほ信託銀行株式会社(下記)宛お送り下さい。

10. 応募締切日

2026年5月29日(必着)

11. 助成金交付

2026年8月(予定)

12. お問い合わせ・申請書送付先

〒100-8241 東京都千代田区丸の内1-3-3 みずほ丸の内タワー
みずほ信託銀行株式会社 ウェルスマネジメント推進部
信託ビジネス開発チーム 公益信託担当あて
TEL: 03-6631-7638
Eメール: koueki.tb@mizuhotb.co.jp

※お問い合わせの際は、本基金名をお知らせくださいますようお願いいたします。

13. その他注意事項

*提出いただいた申請書等は、返却いたしません。

*選考結果は、申請者全員に書面で通知します。

*助成金の受領者に対する授与式は2026年8月27日に開催予定です。
ご出席いただけるようご調整をお願い致します。

(場所:エスペック株式会社 神戸R&Dセンター)

詳細は助成給付決定後、エスペック株式会社より追ってご連絡いたします。

*本助成金を受けた研究の成果は、運営委員会が必要と認め、助成先の了解を得たものに限り発表することがあります。また、本人が学会、学術雑誌、単行本その他の方法で発表するに際しては、「公益信託エスペック地球環境研究・技術基金」の助成による研究である旨を付記して下さい。英文の場合は「ESPEC Foundation for Global Environment Research and Technology (Charitable Trust)」とします。また、「エスペック環境研究奨励賞」の英文表記は「ESPEC Prize for the Encouragement of Environmental Studies」とします。

*研究活動を中止する時は、中止の理由を説明する書類を添えて遅滞なくみずほ信託銀行株式会社に連絡して下さい。この場合、交付済の助成金は原則として当基金に返却するものとします。

助成金の使途について

助成金の使途内容として、下記のことを想定しています。使途内容によっては助成対象とならない場合がありますので、ご不明な点がある場合には、事前に事務局までご連絡下さい。

費目	使途内容
人件費・謝金	<ul style="list-style-type: none"> ・実験、測定、実態調査、資料整理、集計作業等の研究補助者に必要となる費用 等 ※助成者本人および共同研究者の人件費は対象外です。
備品・消耗品費	<ul style="list-style-type: none"> ・研究に必要な図書、文献、一般事務文具、分析・測定用の備品 等
印刷・製本費	<ul style="list-style-type: none"> ・研究関連の作成文書・書類の印刷費 ・文献・文書資料等の複写費 ・英文校正費、論文投稿費 等
調査費	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査、実験・試験、データ処理の一部を外部に委託する場合の費用 等 ・現地調査等に要する費用 等
旅費・交通費	<ul style="list-style-type: none"> ・研究、会議等に要する交通費、宿泊実費 等 ×通常の業務と区別の付かない出張旅費 ×出張中の飲食費、出張手当・日当 ※計上される場合は、助成金使途報告書に目的、行き先、交通手段、日程、人数等の詳細を記載して下さい。
通信費	<ul style="list-style-type: none"> ・当該研究に必要な電話、インターネット等に要する通信費 ・資料等の運搬費 等
借料・損料	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ、実験・試験の機材、研究に使用する車両等のリース料 ・当該研究に関わる会議の会場借り上げ費 等
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・本基金が事前に許可した費用